

NPO 法人流山市国際交流協会



# NIFANEWS

発行: NPO 法人 流山市国際交流協会  
 〒270-0111 流山市江戸川台東 1-4 3F  
 国際理解サポートセンター内  
 ☎ : 04-7128-6007  
 Email:nifa-support@bz04.plala.or.jp  
<http://nifa-home.sakura.ne.jp/>



## 流山の魅力発見～外国出身会員に映るもの～

流山には3千人を超える外国出身の方が、日々私たちと暮らしており、この街での生活をどのように感じているか関心があります。これから1年にわたり、交代で、街の風物などの魅力、暮らしやすさなどを語ってもらいます。

「外国人」に、「流山市民」というアイデンティティが加わりました

### 上村寿安カルロスさん

NIFA 会員、NPO 法人 Amigo Project 代表 ペルー出身

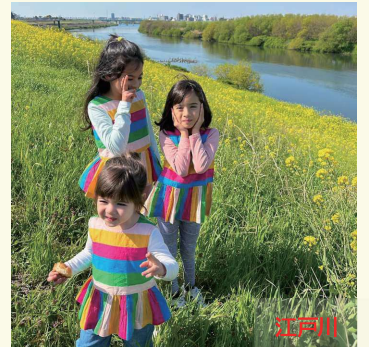
「母になるなら流山」というキャッチコピーのある広告を初めて見たのは6年前、流山市に住む前のことでした。その時に心の中で【外国人が住むなら NAGAREYAMA】という街があったらいいなあ～と感じた事をハッキリと覚えてます。あの頃は都心で、妻と生まれたばかりの長女と一緒に暮らしておりました。

それまでは都心で住んで働くのは当たり前だった私たちにとって、パパ・ママになったことで「住む場所」に対する意識が変わりました。小さくて可愛い赤ちゃんには、私の出身地であるペルーのアンデスの森のキレイな空気を吸わせたい！妻の出身地であるベネズエラのカリブ海を見ながら散歩して育てたい！という気持ちもありましたが、日本での仕事があるので現実的ではなかった。日本が好きで子育てを決めた私たちとしては、この日本の中で、都心での仕事を続けながら、「キレイな空気を感じて」、「安心して散歩できる」街を探し続けて1年で、この流山市に住むことにしました。野々下水辺公園の近くで森と畑に囲まれた土地が大好きです。

私の妻エリザベスはベネズエラ以外にカナダでも暮らした経験があり、私は旅行業という職業柄多数の国々を訪問してありますが、世界の色々な国々を見て私にとって、日本を暮らしやすい場所として選びました。そして、さらにこの日本の中で流山市に住むことを決意した理由は「自然」だけではなく、この流山にたくさんの「伝統」があることでした。自然と歴史を大切にす市民の一人になりたいという思いでした。今も、地域の方々と一緒に活動することでその思いがさらに POWER UP！しました。この街には「ゴミゼロ運動」の日があることを知り、自治会の方々と一緒に清掃や芝刈りなどできることが子供の学びにもなっており、子供たちに後押しされる形で消防団ボランティア活動も参加しています。大好きなスポーツを普及させるために流山市スポーツ推進委員もやらせていただいて、私たちの長い JAPAN 在住歴の中で、NAGAREYAMA に住んでから「外国人」というアイデンティティを持ちながらも、「流山市民」という新たなアイデンティティを得ることができました。そういう環境があるのは NAGAREYAMA だからだと思ってます。これからは「都心に一番近い森」の NAGAREYAMA が「海外に一番近く感じる街」と言われるくらい「多文化共生」が進み、国籍などの背景が異なる方々が一緒に市民活動をして、住みやすい街づくりをしましょう！



カルロスさんファミリー



江戸川



ベネズエラ ペルーです



マチュピチュ遺跡



通学路



自然の多い通学路